

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 169 号)

発行日：2021 年 (R3) 8 月 18 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788  
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail：[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



お盆に長雨。停滞前線が。秋の長雨？「ススキ梅雨」ともいうそう。おっとまだススキに穂は出ていません。やはり異常気象？

IPCC (国連気候変動に関する政府間パネル) は、地球温暖化の科学的根拠を「最新報告書 (第 6 次評価報告書)」で公表。「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。大气、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現れている」と強い調子で、断定したそうです。トランプさんの支持していた説は完全否定。ほとんどの人が気づいていたけど。SDGs がやたらともてはやされていますが、間に合うのか地球！といってもやはり人間 (人類) 都合でのお話ですが。地球規模の時間軸で考えればどうでもいいことかも知れません。「人類も知らない間に消えていく…」ちょっとシュール…か？

(今住 8 月 17 日作成)

やまぼうし保育園分園来訪 ★7 月 20 日 (火) 8 月 4 日 (水) 第 1 弾と第 2 弾！  
はなみずき保育園本園 ★8 月 6 日 (金) 第 2 弾！



さらっぴんの長靴 いいね～



8 月 4 日 視点場から撮影

勝手に命名「四季おりおり」計画。第 1 弾と第 2 弾が同時並行での実施。やまぼうし保育園分園は 7 月 9 日に予定していた分が雨天のため延期となり 20 日に。第 1 弾は「ハッコウトシロ」第 2 弾は「サギソウ」をメインにしています。連続となっていました。しかし季節というのは「異常」でもすごいもの。半月違うと大きな変化が。二十四節気とはよく言ったものです。

そして両園の子どもたちの成長が早い！1 回目と 2 回目では行動にも判断にも大きな違いが見られました。ガイドのつもりがガイドされているようです。しかも「目」がいい。「キラキラ」だけではなく「見つける力」。「キラキラ」しているから見つけられるのか？「濁った」目はあきまへん。とも言うておられず、こちら「ギラギラ」目を輝かせガイド！



1 回目の園児 若干控えめ



2 回目 もう止まらない…



ノコギリカミキリ?ニセノコギリカミキリ?



体にトゲが。トゲナナフシに決定!  
 …。結局トゲナナフシ(棘七節)に確定。虫嫌いの方には「信じられない!」「イヤ〜!」の世界でしょうが、好きな人にはパラダイス。子どもたちもいろいろ。保育士さんに虫嫌いな方がいてお気の毒でした。しかも最後に「ババヤステ(婆馬陸)の仲間」を子どもたちが見つけ「これ見て〜」(入れ知恵しました、虫ハラ?)。ほんとにお気の毒でした。ショッキングな方がいると思いますので画像は載せません。かわいいけどね。ワラジムシ(ダンゴムシ?)のつながった感じね。森のお掃除屋さんです。見たい人はブログをご覧ください。

もう一つスゴイのを見つけてくれました。なんとマイマイカブリ(蝸牛被)の幼虫。マイマイカブリはオサムシの仲間。これは結構いる。カタツムリの殻に頭を突っ込んで食べてしまう。その様子が名前の由来。殻を被ったように見える。だから結構スレンダーなボディー。捕まえると臭いやつね。毒を噴射しています。ちょっと危険。しかし、この幼虫は成虫(甲虫)と似ても似つかぬ姿。めったに見られない。気がつかない?マイマイ(カタツムリ)を被っていたから分かったようなもの。本当に目がいい。あんたらすごいわ!伊丹昆虫館のカルタで知っていたとか。恐るべし昆虫館。次は何を見つけてくれるやら、楽しみです。

「四季おりおり」計画。「ハッチョウトンボ」「サギソウ」と続きましたが、第3弾は「ウメバチソウ」。いよいよ秋です。美味しいものがあるかな〜?そうそう忘れてました。ヤマボウシの実が美味でしたよ。しかし、やまぼうし保育園分園はちょっと時期が早く食べられませんでした。残

2 回目の園児たちは「あの食べられる葉っぱ採って〜」からスタート。カンサイスノキ(スノキ=酔の木)です。春先の葉っぱは柔らかいですが、この時期になってくるとかなり固い。柔らかそうな葉をとって渡すと。ムシャムシャ…「美味しい!」。ひと枝分食べてしまう子も。前回も大丈夫やったから大丈夫か?一般的にはガムのように吐き出すような?夏の暑さには爽やかな1枚。ぜひお試しを。意外に見つけにくい…。

目的のサギソウ(鷺草)はバッチリ。でも、動くものの方がいいんだな〜。こちらは、子どもたちの独断場。ちょっと?歳をとった我々より見つけます。しかも昆虫独特の保護色や擬態を見破り捕獲!

まずは「カミキリムシ」。その時は適当?に「ミヤマカミキリや!」と答えていました。確認すると全然違うがな!おそらくノコギリカミキリかニセノコギリカミキリのどちらかのようなようです。前胸に光沢はない?ならニセノコギリカミキリ(偽鋸髪切)らしいのですが…。全然違うかも???

さらに宇宙生物のような生き物を。知ってる人は知っている「ナナフシ」。こちらもパッと見て適当に「ナナフシモドキや!」と。ナナフシは擬態名人。茶色のも緑のもあります。しかも動くときは枝が揺れるようにフワフワと。まず見つけるのは困難。それを見つけてサッと捕まえる。凄いな〜。ところが画像をよく見ると触角が長い。「エダナナフシ」と確定?blogで公開しFBにリンクすると…その筋の方から「トゲナナフシでは?」と指摘あり。画像をよく見ると、体にトゲが

念！園に木があるか？赤くなってきたら食べごろ。タイミングでまずいこともありますのでご承知を。好きずきだしね。はなみずき保育園分園はサギソウ来られるかな？雨が…。

**定期活動**★7月25日(日) 定期作業 サギソウ開花数調査ルートササ刈り 11名で活動



サギソウ開花数調査のルート確保です。毎年ですが、湿原(水のあるところ)の周囲のササ刈り。夏のこの時期の刈り取りは効果的のようで、毎年矮小化しています。しかし暑い！熱中症に注意をしながらの活動です。携帯もほとんどつながらない。救急車が来れるわけでもない。他の保全団体も含め安全対策は必須です



7月25日のサギソウ

わかるかな～点々とすでにサギソウが…ね。とにかく無理をしない。これか！それから、長い時間やらない。「遊んでんのか？」ぐらいがちょうどいい。と勝手に思っています。ええでしょ！

とはいえ、「刈り払い機」や「鎌」の作業。慎重に慎重に。約2時間の作業で観察ルートの確保はほぼ終了。次回は仕上げとルートライン張りです。ブロック分けもね。

8月22日(日)は「サギソウ開花数調査」。コロナ第5波の中、実施できるか？ちょっと心配になってきました。バブル方式か？そんなんあれへんし…。でも、調査はしなければ。

すでに点々と開花が確認されました。7月20日には視点場付近からは確認できなかったので、



ササ刈り終了！ま～こんなもんやろ

この数日で一気に開花が始まったようです。数年前の会報で「7月中の開花は初めてか？」と書いたのが嘘のように感じます。最近ではほぼ7月第4週の日曜日には開花を見えています。開花期が6～10月ということになりかねないかも？逆に休眠打破(サギソウにあるかないかは不明)せずなかなか咲かないことも？全く科学的根拠はありませんので。その前に湿原の消滅(大雨・旱魃)が起こるかもですが…。そうなれば、「丸山湿原群保全の会」も消滅でしょうね。エンジン刈り払い機を使っていてなんですが、脱CO<sub>2</sub>(カーボンニュートラル)社会の実現を！

この時期はヒナノシャクジョウ

(雛の錫杖)も開花期に入ります。

今年は豊作のようで、ありそうな場所を探すと結構たくさん確認できます。ありそうな場所とは？ヒ・ミ・ツ！でもないですが湿原内でないことが多いので探してみてください。ホンゴウソウはまだ見当たりません。8月には見つかると思います。地べたを這うように探さないと



ヒナノシャクジョウ開花



ハッチョウトンボもまだまだいました  
見つかりませんが。頑張れ～！誰が見つかるか???

ハッチョウトンボ(八丁蜻蛉)、アギナシ(顎無し)、ミカツキグサ(三日月草)、ミミカキグサ

(耳搔き草)類も見られます。この時点ではミズギボウシが意外に少ない。ミズトンボ・サワギキョウも間近?気候などの関係で毎年同じように見られないのが面白い。でもず〜っと見られなくなると絶滅?これは悲しい…。

**定期活動**★7月14日(土) 定期基礎調査 大雨警報で中止 データは16日計測

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	111	53	入口	9:53	23.9℃		
ハイキング	25	59	第3湿原	10:22	【21.3℃】	35.6 $\mu$ S/cm	7.0
散歩・登山	77	35	視点場	10:39	25.3℃	24.7 $\mu$ S/cm	7.0
来場者数 計360人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	10:50	【23.5℃】	28.1 $\mu$ S/cm	6.9
			第2湿原	11:05	【22.5℃】	32.0 $\mu$ S/cm	6.8

なぜかお盆に長雨。しかも災害級。実りかけた稲穂もあちこちで倒伏しかけています。その上コロナは第5波。「緊急事態宣言」が20日から決まりました。「またいろいろできなくなる」と恐々とした日々を過ごしています。もちろんコロナも怖い。自治体関係の接種については、高齢者(65歳以上)以外進んでいないのが実情。(宝塚市だけ?)私も9月分でやっと1回目の予約ができた次第。「サギソウ開花数調査」も一般参加はお断りすることになりました。(来年お願いします!)



倒伏しかけの稲



視点場からのサギソウ



赤とんぼ ヒメアカネ

さて22日は何株確認できるか?ミズギボウシ(水擬宝珠)もたくさん咲いていました。

トンボはヒメアカネ(姫茜)がずいぶん増えてきました。アカネ属最小。アカネ属はいわゆる「赤とんぼ」。だんだん赤色に変化していきます。(特に♂)しかし、なんと赤くない「赤とんぼ」もいます。ふ・し・ぎ…。

ハッチョウトンボは「赤いとんぼ」。真っ赤でも「赤とんぼ」とは言わないような。あくまでもその筋での話です。極端に赤いショウジョウトンボも「赤いとんぼ」です。う〜ん。なんか納得できんが…。

ヤマボウシ(山法師)の実も食べごろか?雨で水っぽいが…。味見しました。イソノキ(磯の木)の実も色づき始めています。いよいよ収穫?の秋が近づいているようです。なんか早いな?夏は長そうなのに…。

コロナと異常気象は関係ないのか?やはりどこかで繋がっているような気がしてなりません。

雨の間隙を縫って16日に丸山湿原へ。データ取りと、もろもろの下見。月曜にもかかわらず少人数のグループが次々と来られていました。(丸山基準ですが…)

サギソウはそろそろピークの様です。さて22日は何株確認できるか?ミズギボウシ(水擬宝珠)もたくさん咲いていました。

トンボはヒメアカネ(姫茜)がずいぶん増えてきました。アカネ属最小。アカネ属



食べごろ?ヤマボウシの実



コクサギ型葉序 イソノキ

**次回活動** 8月22日(日) サギソウ開花数調査 9月11日(土) 18日(土) 研修 26日(日)